

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成24年4月2日

計画の名称	1 快適でうるおいのあるまちづくり		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	福崎町
計画の目標			

生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水の防除を目的とし、下水（汚水・雨水）排除に必要な施設の整備を住民の理解を得ながら推進し、望ましい水循環、水環境づくりに努めます。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>福崎処理区における下水道処理人口普及率を約98%にまで引き上げることを目標に整備を進める。</li> <li>下水道による都市浸水対策の達成率を0%(H22)から3%(H26)に増加。</li> </ul>
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
	90%	95%	98%							
下水道処理人口普及率=処理区域内人口/計画区域人口										
都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。										
下水道による都市浸水対策達成率 (%) = (概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)) / (都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha))	0%	1%	3%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	5850.6百万円	A	5499.6百万円	B		C	351.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.0%

交付対象事業

A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	下水道	一般	福崎町	直接	-	汚水	新設	市川左岸第2分区面整備工事(未普及解消)	污水管φ150mm A=29ha	福崎町						841.5	
1-A1-2	下水道	一般	福崎町	直接	-	汚水	新設	市川左岸第2-1分区面整備工事(未普及解消)	污水管φ150mm A=54.2ha	福崎町						1,152.5	
1-A1-3	下水道	一般	福崎町	直接	-	汚水	新設	田原汚水中継ポンプ場(未普及解消)	建設工事(建設・機械・電気設備) 1式	福崎町						219.7	
1-A1-4	下水道	一般	福崎町	直接	-	汚水	新設	田原汚水中継ポンプ場(未普及解消)	外構工事 1式	福崎町						6.0	
1-A1-5	下水道	一般	福崎町	直接	-	汚水	増築	福崎浄化センター建設工事(水質保全)	水処理施設(機械・電気設備) 1式	福崎町						1,429.7	
1-A1-6	下水道	一般	福崎町	直接	-	雨水	新設	市川排水区(浸水対策)	幹線渠工事 L=5,450m	福崎町						1,160.5	
1-A1-7	下水道	一般	福崎町	直接	-	汚水	増築	福崎浄化センター建設工事(水質保全)	汚泥処理施設 1式	福崎町						294.0	
1-A1-8	下水道	一般	福崎町	直接	-	汚水	新設	市川右岸第2分区面整備工事(未普及解消)	污水管φ300mm A=120ha	福崎町						395.7	
											小計（下水道事業）			5,499.6			
											合計			5,499.6			

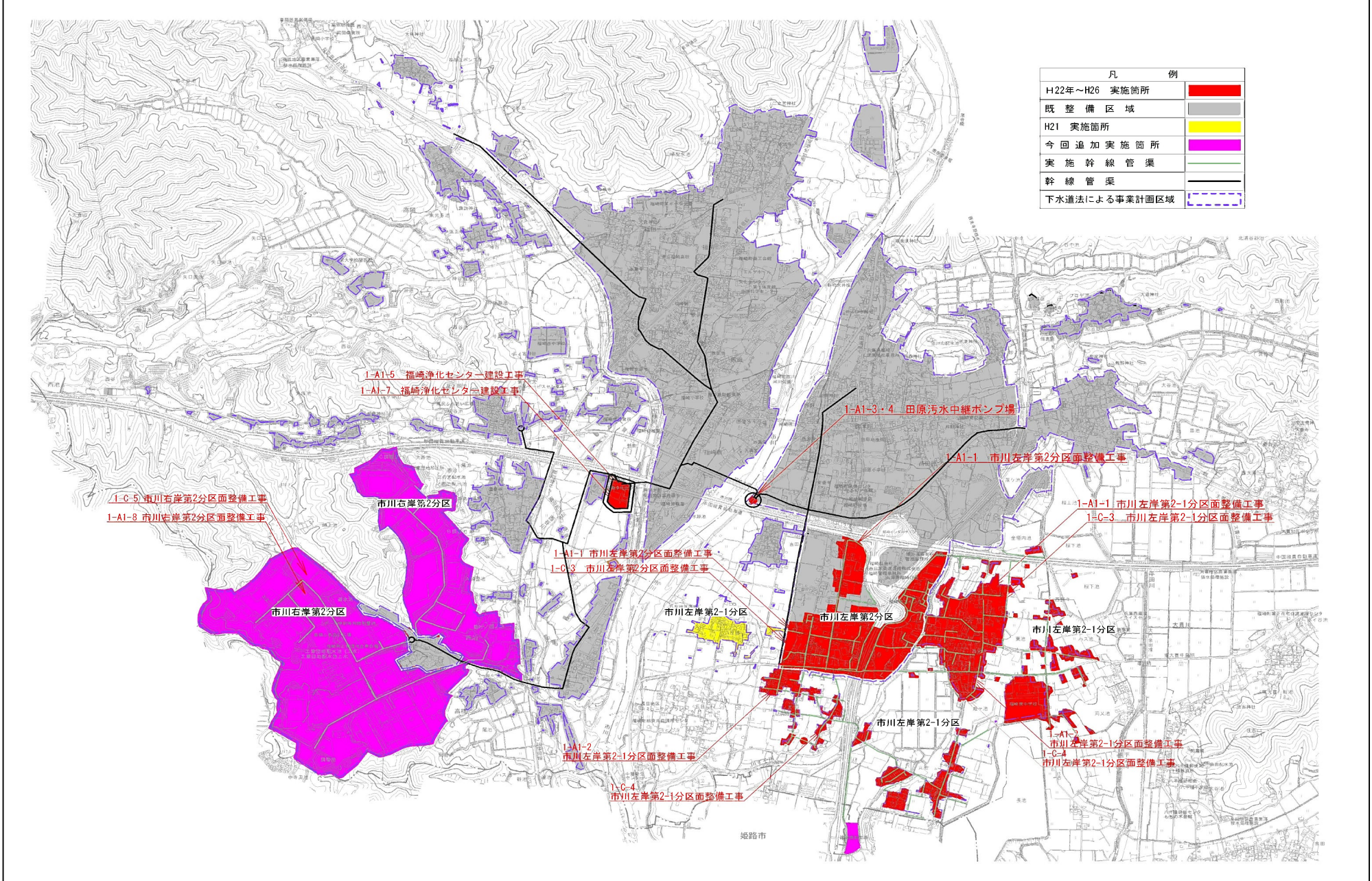
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
											合計			0.0			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	下水道	一般	福崎町	直接	-	ハザードマップ	ハザードマップ作成	市川流域におけるハザードマップの作成	福崎町						6.0	
1-C-2	下水道	一般	福崎町	直接	-	活動支援	防災訓練実施支援	防災訓練実施用の備品購入	福崎町						4.0	
1-C-3	下水道	一般	福崎町	直接	-	新設	市川左岸第2分区面整備工事(未普及解消)	枝管管渠の整備 A=1.5ha	福崎町						100.0	
1-C-4	下水道	一般	福崎町	直接	-	新設	市川左岸第2-1分区面整備工事(未普及解消)	枝管管渠の整備 A=3.2ha	福崎町						202.0	
1-C-5	下水道	一般	福崎町	直接	-	新設	市川右岸第2分区面整備工事(未普及解消)	枝管管渠の整備 A=1.0ha	福崎町						39.0	
											合計			351.0		

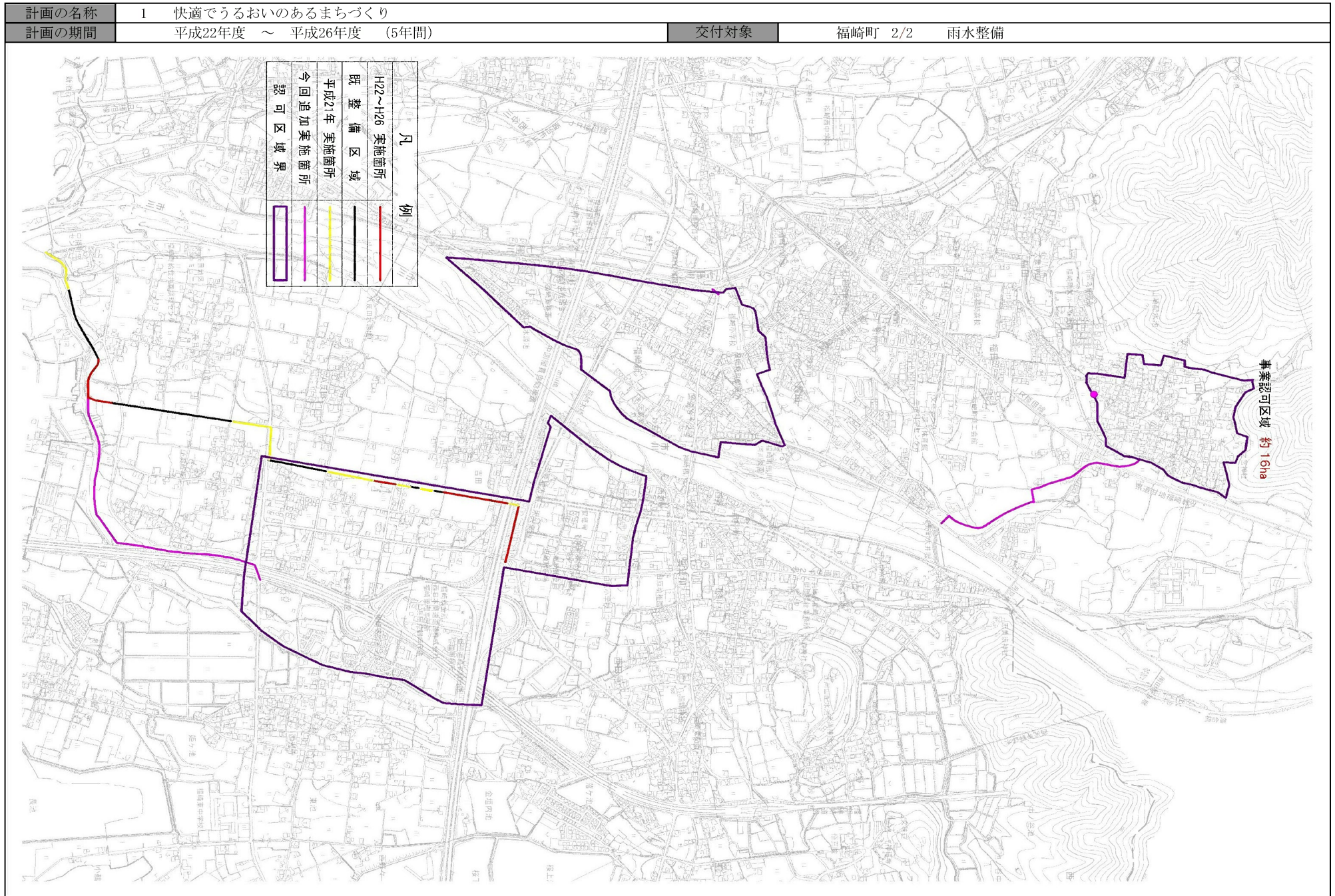
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。															
1-C-2	災害発生時の避難行動を訓練するとともに、内水対策に関する啓発・訓練を行い、災害発生時における被害の軽減を図る。															
1-C-3	基幹事業(1-A1-1)と接続する污水管渠（末端）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。															
1-C-4	基幹事業(1-A1-2)と接続する污水管渠（末端）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。															
1-C-5	基幹事業(1-A1-8)と接続する污水管渠（末端）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。															

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 快適でうるおいのあるまちづくり	交付対象	福崎町 1/2	汚水整備
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)			



(参考図面) 水の安全・安心基盤整備



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(水の安全・安心基盤整備(下水道関係))

計画の名称: 快適でうるおいのあるまちづくり 事業主体名: 福崎町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 上位計画(総合計画、生活排水処理計画、都市計画等)との整合性が確保されている。	○
2) 下水道の諸計画(合流式下水道緊急改善計画等)との整合性が確保されている。	○
3) 関連する諸計画(河川整備計画等)と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 整備計画の効果及び効率性	
③目標と定量的指標の整合性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
④定量的指標の明瞭性	
1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
⑤目標と事業内容の整合性	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
⑥事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
⑧地元の機運	
1) 事業実施に向けた機運がある。	○
2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○